

平成 29 年度第 1 回草津市自殺対策推進会議について

日 時	平成 29 年 8 月 10 日 (木) 14:30~16:00
会 場	草津市役所 5 階 502 会議室
参 加 者	まちづくり協議会連合会、草津市社会福祉協議会、草津市民生委員児童委員協議会、草津商工会議所、ハローワーク草津、滋賀県自死遺族の会、滋賀いのちの電話、草津栗東医師会、草津総合病院、市民公募、草津保健所、事務局
欠席者	滋賀県司法書士会

【内容】

- ・平成 28 年度自殺対策行動計画における取組状況及び 29 年度事業計画について

【報告内容・意見】

- 草津市自殺対策行動計画の基本施策ごとに、市の取り組みをまとめて報告し、基本方針ごとの目標指標について評価。

≪目標指標と評価≫

- ▽ 「草津市自殺対策推進会議」や「草津市自殺対策関係課会議」を年 1 回以上開催し、情報共有と自殺対策の推進を行う。

→会議を開催できている。更なる計画推進のために、継続して開催していく。

- ▽ 広報での特集記事の掲載等、あらゆる機会を通じてこころの健康づくりに関する啓発を行う。

→実施できている。更なる啓発機会拡大を図る。

- ▽ 地域住民を対象に身近なゲートキーパーを養成するための研修会を年間 1 回以上開催し、毎年 50 人以上の受講者を目指す。

→実施できている。より多くの市民が身近な人と支え合えるように、研修を継続する

- ▽ 各種相談窓口担当者に対し専門的な見地から相談対応できるゲートキーパーを養成するための研修会を年間 1 回以上開催し、毎年 50 人以上の受講者を目指す。

→実施できている。相談窓口で質の高い援助を行うため、研修を継続する。

- ▽ 相談窓口の認知度が上がり、自殺対策の推進が図れるよう、窓口の周知を行う。これにより各種相談件数の増加を目指す。

→窓口ごとに相談件数の増減はあるが、相談窓口の数は増えており、相談しやすい体制づくりがすすんでいる。今後も関係機関と連携しながら相談支援を充実させていく。

- 委員の日頃の活動などの中で感じていること、意見交換

- ・ 雇用の不安定、ひとり親家庭、貧困、いじめなど、いろいろな問題が関係している。小さくてもきめ細やかなネットワークを作っていくべき。
- ・ SOS を発する相手は、多いほど良い。多くの人が、悩む人を早く見つけて、傾聴する力をつけていけると良い。

- ・ 家族のことを地域の人などに伝えることは感情的に難しいが、それができるとつながることができる地域づくりが必要。
- ・ 困りごとを抱えた時に、地域の民生委員児童委員などに連絡があれば、パイプ役として専門の窓口につなぐこともできる。認知症のように、広く一般の人にも症状などが認知されることで、相談しやすくなるが良い。
- ・ 自死遺族の分かち合いのつどいでは、広報紙を見て参加される人もいます。少しずつでも周知を続けていくことで、抵抗感が少なくなっていくことを望んでいる。
- ・ ゲートキーパーとは、悩みを持つ人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人のことで、そのために特別な資格は必要ない。研修に参加することで、ゲートキーパーとしての地域の中での支え合いが進んでいるのか、評価ができると良い。今後の研修会の参加者アンケートなどを活用して、評価につなげていくと良い。
- ・ ゲートキーパー研修は、ゲートキーパーとしての役割ができるだけでなく、死にたいほどの悩みを持つ人のことを知ってもらうことも目的のひとつだと思う。
- ・ 地域での関係が希薄になってきている。身近な人を助けるために、自殺対策を進める必要がある。

【今後の予定】

- ・ 第2回草津市自殺対策推進会議 平成30年2月8日（木）
- ・ 草津市ゲートキーパー講座（市民等対象ゲートキーパー養成研修会）
 - ① 9月9日（土）13:30～ 人権センターにて（人権セミナーと共催）
 - ② 平成30年3月1日（木）午後 市役所8階大会議室にて
- ・ 滋賀県自殺対策トップセミナー 11月10日（金）

